

事例の情報シート

<兄の情報>

- ・元々は明るく元気な子、1学期当初は授業中も積極的に手を挙げ、発言していたが、5月連休明けから忘れ物が増え、発言もなくなり、授業中も時々ぼんやりしていた。
- ・同じ服を2日続けて着ていることが2回あった。
- ・持ち物がそろっていないことが多い。「忘れ物は僕が悪いから、お母さんに言わないで」と言うことがあった。1学期末の学級懇談会は母欠席。
- ・「お母さん体調悪いの？」と聞いても「わからない」。家族の質問は「わからない」が多い。
- ・夏休み後、始業式に欠席、その翌日は来たが以降欠席が増えはじめ、月曜日はほぼ来ない。来る日は給食をお替りし、朝食を食べていないと言う時もある。夏休み後は顔色が白っぽくやせていた。
- ・10月に一週間学校に来ないことがあり、担任が家庭訪問をした時は、薄汚れたTシャツ一枚で寒そうな様子で、トイレトペーパーなどたくさんの買い物をして帰ってきた。玄関を開けると異臭がして、ごみ袋がいくつも見られた。
- ・「父は3か月くらい仕事に行っていない。寝ていることが多く、家事や妹たちの世話はしない。お母さんはパートをいくつかしている、何時に帰ってくるかわからないから僕がたまに保育園にお迎えに行くこともある。ずっと働いていて疲れているお母さんが心配。」
- ・「晩御飯は僕と上の妹がスーパーにお弁当を買いに行く。お金が足りなくて食べ物が少ししか買えないことがあり、お腹がすく。お洗濯とかいろいろお手伝いが多く、疲れて朝起きれず学校に行く元気がない。本当は学校を休みたくないし、友達とも遊びたい。」

<妹の情報>

- ・元気で明るく、友達からも好かれている。1学期の終わりごろから、休み時間に友達と過ごすよりも担任のそばに来て、甘えた声で担任を独占して話をしたがる傾向が強くなった。下校もぐずぐずして担任に話をしようとし、帰りたがらない様子が見られるが、友達が待っていることも気にして、名残惜しそうに帰っていく。
- ・鉛筆が削っていなかったり、持ち物がそろっていなかったりするが、本来忘れ物をする子ではなく、尋ねると「お母さんが買ってくれなかった」「どこにあるかわからなかった」と小さな声で言うことがあった。
- ・夏休み後始業式は休んだが「お兄ちゃんも私も起きられなかった」と言っていた。欠席は兄ほど多くはないが、「お兄ちゃんはまだ寝ている、私は起きた」「お母さんが疲れていると言って宿題を見てくれない」「お兄ちゃんがから揚げ弁当ばかり買ってくるので飽きる」と家族の不満を言いかけるが、はっとして口をつぐむことが数回あり、気になった。
- ・「前は学校から帰るとお母さんが家にいた、今はお母さんはお仕事の帰りが遅くなっていつも

忙しそうで疲れてる。」

- ・「お父さんはずっとお仕事がお休みで、ずっと家で寝ていて、よくうるさいと叱られる。前は優しいお父さんで、怒鳴られることはなかった。優しいお父さんに戻ってほしい。」
- ・「お母さんが疲れているからお兄ちゃんとスーパーに買い物に行く。」
- ・「宿題を見てもらえないから、お兄ちゃんに音読の○印付けてもらおう。本当はお母さんに聞いてほしいし、前みたいに上手だねってほめてほしい。」
- ・「お母さんにもっとお話を聞いてほしいけど、下の妹が甘えているから我慢する。」

<母からの情報>

- ・自宅療養中の父がいるため、家庭訪問は困る。
- ・父は工場勤務。父の工場は新型コロナウイルスの影響で稼働率が低下し収入が激減。
- ・父はふさぎ込むようになり鬱と診断される。現在は休職中。回復の兆しは見えず、子どもたちの声にも「うるさい!」と怒鳴ることがあり、子ども達への影響が心配。発症前は子どもを怒鳴ることはなくやさしかった。
- ・通院や服薬をさぼるようになった。
- ・母はパートの時間を長くしたり、掛け持ちして家計を支えている。疲れて家事育児ができなくなり、兄にお弁当を買ってきてもらうことが増え、栄養も心配。
- ・妹に「お母さんたまには宿題見てよ」と言われるが…正直いらっとする。
- ・上の二人は察してくれるが、一番下がやんちゃを言うので腹が立ち手が出そうになることもある。
- ・貯金を取り崩しはじめこの先の生活が不安。
- ・両親の実家とも県外なうえ関係も疎遠で、頼れる人がいない。